



55

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年5月23日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

論点

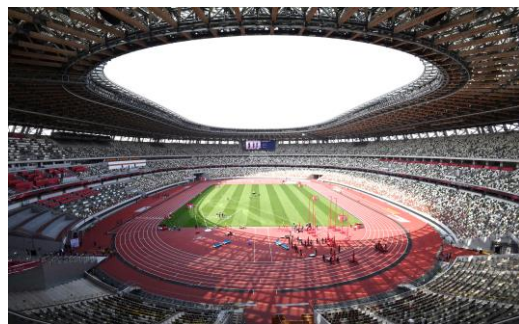
東京五輪をめぐるって

26日(水)、28日(金)＝オピニオン面

東京オリンピックの開幕まで2カ月を切りました。ワクチン接種は加速せず、新型コロナウイルスの感染は収まる気配がありません。

開催の中止や延期を求める声が国内外で大きくなる中、国際オリンピック委員会（IOC）も日本側も開催する方向で準備を進めています。

開催の是非や、五輪の本来の姿などについて大会関係者や専門家らが2回にわたって論じます。



無観客で開催された陸上の東京オリンピックのテスト大会

特集 **ワイド**

なぜ遅れたワクチン接種

26日(水)＝夕刊特集ワイド

新型コロナウイルスのワクチン接種が4月から、ようやく65歳以上の高齢者を対象に始まりました。

決定的なコロナの治療薬がない中、ワクチン接種は感染拡大を抑え込む切り札として期待されています。しかし、日本は諸外国に比べて接種が大きく遅れており、「ワクチン敗戦」などと揶揄（や

ゆ）されるほどです。なぜこのようなことになったのでしょうか。



ワクチン接種の様子Ⅱ
富山市で

「大規模接種センター」で飛沫（ひまつ）防止のクリアボードを準備する関係者＝大阪市北区で



そこが聞きたい
認知症当事者の心の内とは

25日(火)
＝オピニオン面

2025年には高齢者の5人に1人が認知症になるといわれています。介護に携わる中で、記憶や判断力の障害といった中核症状に加え、妄想などの周辺症状（BPSD）に悩む

家族は少なくありません。「認知症になった人の心を理解し、状態をよくすれば、介護に関わる家族も楽になる」と説き、「認知症の心理学」を研究する大阪大大学院の佐藤真一

教授（64）＝写真＝に、当事者の心の内や介護の心得について聞きました。



コロナワクチン 大規模接種始まる

25日(火)＝1面など

自衛隊が運営する新型コロナウイルスワクチンの大規模接種センターが24日、東京都と大阪府の2カ所で開設されます。予約を済ませた65歳以上の高齢者が会場を訪れて接種を

受けます。最初は東京23区と大阪市に住む人が対象で、対象地域は首都圏と関西圏へと広がっていきます。現場の状況をお伝えするとともに、接種の際の注意点や今後の課題について考えます。

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

毎日小学生新聞で連載中の「校閲（こうえつ）探偵」のオンラインイベントを30日に開催します。校閲のお仕事体験に、クイズ形式で文章の間違い探しを挑戦していただきます。読解力テストにもびつたりです。QRコードから申し込み。締め切りは26日（先着順）までです（先着順）。ぜひご参加ください。（川口真由）



竹橋の窓辺から
編集後記

